



## 「今日もまた少しうまくなったよ」

先日、サッカーJリーグ横浜FCの中村俊輔選手が、現役を引退しました。中村選手と言えば、「黄金の左足」「天才レフティー」などの異名を持ち、直接フリーキックによる得点はJリーグ歴代最多で、彼の左足から放たれる、正確で鮮やかなカーブがかかったフリーキックは、多くのファンを魅了しました。また、Jリーグの年間最優秀選手を2回、ベストイレブンを受賞したほか、日本代表としても多くの国際大会に出場し、FIFAワールドカップにも2大会出場しています。海外でも、レジーナ（イタリア）やセルティック（スコットランド）などの強豪クラブで活躍しました。そんなプロ集団でも、セットプレーになったときは、皆が譲って中村選手にキッカーを任せていました。そこまで認められた日本人選手は、他にはいないのではないのでしょうか。

そんな中村選手を少し違った角度から紹介すると、彼はバラエティ番組での活躍もあり、私が印象に残っているのは、日本テレビ系列のお正月番組である「ウルトラマンDASH」です。「ピンチは突然訪れる」の言葉とともに、日常的にはあまり考えられないピンチを救うために、日本を代表するアスリートたちがミッションに挑戦するという番組です。2012年のこの番組では、中村選手は、数十メートル離れた位置から、丁字路を横切るバスの窓にサッカーボールを蹴り込むという離れ業をやったのけました。ちなみにこのシーンは、「キャプテン翼」の名シーンをモチーフにしたものでした。この時は、テレビを見ながら鳥肌が立ったのを覚えています。小さい子どもは、きっと中村選手の姿に憧れたはずですが、こういう面でも、彼の日本サッカー界への貢献度は計り知れないと思います。

ところで、このあとも中村選手は何度かこの番組に登場するのですが、私がもう一つ心に残っている年があります。中村選手3回目の出場となる2014年、細かいシチュエーションは覚えていないのですが、上下に動くウェディングケーキの一番上に飾ってある人形を、20m～30mほど離れたところからのフリーキックで落とすというミッションに挑戦しました。この挑戦、実は制限時間内に成功しなかったため、ここまでなら私もそんなに印象には残っていないと思うのですが、番組収録後、カメラが回っていないにもかかわらず、中村選手は、その日の自分のスケジュールを変更してまで現場に残り、成功するまでボールを蹴り続け、何回目かにミッションをクリアしたということが、番組内で紹介されたんです。自己満足と言ってしまえばそれまでですが、中村選手の妥協を許さない姿勢がとても印象に残った年でした。

さて、この妥協を許さない姿勢は、中村選手の普段の練習にも表れています。彼は、チームの練習後は、決まって残ってフリーキックの練習をしていたそうです。それも、相手ディフェンダーに見立てた人形を並べて、それを外すように、ボールに回転をかけてゴールへ蹴り込む練習です。そんな中村選手を特集したある番組で、練習後に彼が取材ディレクターに言った言葉が、今日のタイトルの言葉でした。

### 「今日も、また少し、うまくなったよ。」

そう言いながらシューズを履き替えていた姿が、今でも目に焼き付いています。彼ほどの超一流の技術を持っていても、さらに上をめざす強い気持ち、今の自分の状態を正しく把握した上で何ができるようになったのかを分析できる能力、極限まで突き詰めていく体力と精神力。どれをとっても、まさに「ウルトラマン」と言ってもいいかもしれません。しかし、中村選手も私たちと同じ人間です。誰でも彼と同じようなことができるわけではありませんが、何か、見習えるものがあるのではないのでしょうか。少なくとも、安易に妥協しないことや、「これ以上自分にできることはないのか。」と自分に問かけることは、私たちにもできそうなことです。3年生は、進路に向けての試練が本格化していきます。1、2年生も、期末テストや新人大会、文化祭など、目標にすべきことがどの人にもあるはずですが、自分にできる最大限の努力を怠らず、一人一人が、自分なりの「ウルトラマン」になってくれることを期待しています。



【無料の写真集「ピクト缶」より】